

AJA KONA、Io および T-TAP™ ソフトウェアインストーラー

リリースノート - macOS v14.0.1

重要な記載事項 - 必ずお読みください

対応 OS

このドライババージョンは、macOS 10.13.x (High Sierra)、macOS 10.12.x (Sierra)、10.11.x (El Capitan)、10.10 (Yosemite) および 10.9.5 (Mavericks) と互換性があります。しかし、4K/UHD や 60p といったハイフレームレートを用いるワークフローが必要な場合には、macOS 10.13.x (High Sierra) または 10.12.x (Sierra) のご利用をお勧めします。

ソフトウェア

このインストーラーは、下記のソフトウェアバージョンと互換性があります。最高のパフォーマンスを求める場合には、最新版のご使用をお勧めします。

Adobe

- ・ Premiere Pro CC 2018、2017、2015
- ・ After Effects CC 2018、2017、2015
- ・ Photoshop CC 2018、2017、2015
- ・ Prelude CC 2018、2017、2015
- ・ Audition CC 2018、2017、2015

Avid

- ・ Media Composer - 8.10、8.9、8.8、8.7、8.6、8.5、8.4

Apple

- ・ FCP X - 10.4、10.3.2、10.3.1、10.3、10.2.3

Telestream

- ・ Wirecast - 8.x、7.x、6.x

その他の互換アプリケーション

- ・ <http://www.aja-jp.com/products/kona#ソフトウェア対応表>
- ・ <http://www.aja-jp.com/products/io#ソフトウェア対応表>

*その他のアプリケーションで使用するために必要な AJA ドライババージョンの詳細については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

v14.0.1 の新機能

AJA Io 4K Plus、Io 4K および KONA 4 ファームウェア

- ・ SDI 入力のクアッド入れ替え機能を追加
 - ・ チェックを入れた場合（デフォルトはチェックが入った設定になっています）、クアッド入力の SDI クアドラントマッピングを1対1（Quad 1 = SDI 1、Quad 2 = SDI 2、Quad 3 = SDI 3、Quad 4 = SDI 4）から、Quad 1 = SDI 3、Quad 2 = SDI 4、Quad 3 = SDI 1、Quad 4 = SDI 2 に変更します。
- ・ SDI 出力のクアッド入れ替え機能を追加
 - ・ チェックを入れた場合（デフォルトはチェックが入った設定になっています）、クアッド出力の SDI クアドラントマッピングを1対1（Quad 1 = SDI 1、Quad 2 = SDI 2、Quad 3 = SDI 3、Quad 4 = SDI 4）から、Quad 1 = SDI 3、Quad 2 = SDI 4、Quad 3 = SDI 1、Quad 4 = SDI 2 に変更します。

AJA Io 4K Plus ファームウェア

- ・ HDMI オーディオ Ch 3/4 の入れ替え機能を追加
 - ・ マルチチャンネルオーディオデコーダースystemの場合には、LFE（重低音効果）オーディオを Ch 4 に、それ以外のオーディオを Ch 3 に配置します。
 - ・ チェックを入れた場合（デフォルトはチェックが入った設定になっています）、HDMI オーディオ出力 Ch 3 は Ch 4 へ配置され、入力 Ch 4 は Ch 3 へ配置されます。
 - ・ チェックを入れない場合、HDMI オーディオ出力は元々の Ch 3 および Ch 4 の配置のままになります。

v14.0.1 での修正点および改善点

- ・ HDMI 出力のタイミングおよび安定性を全般的に修正（特に HDMI 1.4 モニターへの対応を改善）
- ・ macOS での、KONA 4 からの HDMI 出力における不具合を修正
- ・ 2SI（ツーサンプルインターリーブ）での UltraHD フォーマット HDMI 出力における不具合を修正
- ・ HDMI を入力ソースとした場合に、入力信号の認識が一時的に止まる不具合を修正
- ・ 4K 出力の際に SDI 3 からの出力が欠けている不具合を修正
- ・ コントロールパネル上でのインプット・パススルー画面で、挙動を正しく表示するよう修正（HDMI ダウンコンバート時）

- ・コントロールパネル上で、接続された機器が lo 4K Plus と Avid DNxIV とともに表示されてしまう不具合を修正
- ・AJA Multi-Channel Config がウイルスチェックソフトウェアと干渉する不具合を修正
- ・macOS および Windows インストーラーで Python モデルを使用できるよう改善
- ・キャプチャー中に、AJA コントロールルーム上でリップシンクずれのエラーメッセージが表示されてしまう不具合を修正（キャプチャー動作自体には問題はありません）
- ・キャプチャー中に、Adobe Premiere Pro 上でリップシンクずれのエラーメッセージが表示され、キャプチャー結果では同期が外れてしまっている不具合を修正
- ・Avid Media Composer で、プレイバック開始時にスナップバックが一時的に止まる不具合を修正
- ・Avid Media Composer で、P/PsF 切り替え時の反応を改善（このバージョンでは即座に反応するようになっています）

v14.0 で廃止になった機能

lo 4K Plus、lo 4K、KONA 4 ファームウェア

- ・クアッドリンク SDI 入力は、HDMI 出力では UHD として認識することができなくなっています。その代わりに、HDMI 出力は HD モニタリングとしてダウンコンバートされるようになります（この制限は、**2 サンプルインターリーブ（2SI）入力ソースには適用されません**）。
- ・ハイフレームレート非対応のモニターで HDMI プレイバックを容易にするために、ハイフレームレート素材の信号を間引くことはできなくなりました。

以前のリリースでの修正点および改善点

v14.0

- ・スリープモードからの復帰時に Apple FCPX の再起動が必要になる不具合を修正
- ・Apple FCPX でのタイムコード出力の信頼性を改善
- ・Apple FCPX が起動中、AJA コントロールパネルで HDR 設定を変更した際に、変更内容を認識するためにアプリケーションの再起動が必要になる不具合を修正
- ・Apple FCPX において、スリープ>起動>立ち上げサイクル後のカーネルパニックを修正
- ・Apple FCPX において、Thunderbolt プラグサイクル上で “loclasscount for AudioStream” がゼロにリセットされない不具合を修正

- ・ Adobe Premiere Pro CC において、インターレース素材の逆再生時にフィールドが正しく入れ替えられていない部分を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC において、アイコンをスクラブしビンからクリップをキューする際、1回目の再生時に生じる停止フレームの不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CCでビデオディレイがゼロを超えて設定されているときの再生がジャンプする問題を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC において、ソースビューワーからの RP188 出力を修正
- ・ Avid Media Composer において、2K 60p プロジェクトでのプレイバック時の不具合を修正
- ・ Avid Media Composer において、AMA (Avid Media Access) でリンクされた P2 AVC-Intra 再生時の深刻なフレーム落ちおよび A/V 同期ずれを修正
- ・ T-TAP を Wirecast から取り出す際にOEM モードのデバイスを接続したままにしてしまう不具合を修正
- ・ 機器を接続せずに AJA コントロールパネルを立ち上げた場合、アプリケーションが意図せずに終了してしまう不具合を修正
- ・ AJA コントロールパネルにおいて、macOS では操作不可能なコンテキストメニューを修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、Batch Capture ビン画面に VTR オンライン/オフラインアイコンを追加
- ・ AJA コントロールルームにおいて、バッチキャプチャー時 "OK" をクリックした際に、デバイスオフラインのダイアログが表示されず、ループしてしまう不具合を修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、ビデオオブションを "no video" に設定した際、現在地点のタイムコードが更新されなくなる不具合を修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、DPX Cineon ヘッダーシークエンスのプレイバックでのタイムコード不具合を修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、DVCPHD を "on the fly" (即時) でキャプチャーする際、実際にキャプチャーが開始されるまでに 1 秒遅れる不具合を修正
- ・ AJA コントロールルームにおいて、圧縮コーデックプルダウンメニューをカテゴリー分け
- ・ 接続されている下流の Thunderbolt 機器で 2 回目のスリープ状態の後に、AJA デバイスへ正常に接続できない不具合を修正

- ・ Mac がスリープから起動した後に AJA Thunderbolt 機器が認識されなくなる不具合を修正
- ・ アルファチャンネル付きの ProRes 4K 4444 クリップ の使用時に AJA デバイスを正確にセットアップできない不具合を修正
- ・ AJA Desktop uninstaller の名前を変更
- ・ T-TAP において、720p VariCam プレイバックが途切れ途切れになる不具合を修正

v13.0

- ・ Adobe Premiere Pro CC でのループ再生時にビデオがフリーズしてしまう不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC で RGBA 8 ビットをキャプチャーすると不完全なビデオになってしまう不具合を修正
- ・ Adobe After Effects 向けの AJA プラグインが Adobe Premiere Pro CC がインストールされていない場合でもインストールされるように改善
- ・ Adobe Premiere Pro CC でのキャプチャー画面を開いた状態でメモリー・リークが起こる不具合を修正
- ・ Control Room でキャプチャーされた MXF ファイルが、Avid Media Composer とリンクできない不具合を修正 (File > Import > Link to media)
- ・ AJA Control Room で新しいファイルで上書きしようとする際、クリップが重複してしまう不具合を修正
- ・ AJA Control Room GUI で、入力機器が接続されていない場合に問題があった、キャプチャー/プレイバック画面の不具合を修正
- ・ AJA Control Room で編集のイン点 (In Point) を見失う不具合を修正 ("go to IN" 以降でコマ送りしながら往復している状態)
- ・ AJA Control Room でインポートされた Apple ProRes クリップが正しく認識されるように修正
- ・ Thunderbolt™ のプラグアンドプレイ性能の向上
- ・ DF RP188 キャプチャー時のタイムコード検知を修正 (ドロップフレームがノンドロップフレームと検知されていました)
- ・ Io 4K および KONA 4 において、SDI 4 出力に水平ノイズが発生する不具合を修正
- ・ UHD テストパターンを修正

- ・ ETT (Edit To Tape) の不具合を修正 (DVCPro HD クリップが読み込まれている場合、ビデオ入力に歪みが発生)
- ・ AMD グラフィックカードとの互換性を向上
- ・ DVCPro HD ルーティングの不具合を修正 (DVCPro HD 再生に問題があります)
- ・ AJA Io 4K での、HDMI 入力時に不完全なビデオが生成される不具合を修正
- ・ AJA KONA LHi でのアナログ入力をリファレンスとして選択している場合に、HDMI 入力のリファレンスソースとして置き換わってしまう不具合を修正
- ・ Level B の処理を改善 (AJA デバイスへの入力時)
- ・ AJA desktop ソフトウェアをアンインストールする際に生じる、AJA desktop ソフトウェアと Blackmagic Design ソフトウェア間の競合を修正

v12.5.1

- ・ KONA LHi でのアナログ入力ビデオソース時のゲンロック選択を修正
- ・ Adobe Premiere 2017 で 12 ビット HDR カラースペース設定が抜けていた問題を修正
- ・ 32 ビット整数オーディオでキャプチャーされた QuickTime ファイルが一部のサードパーティアプリケーションで再生されない問題を修正
- ・ Adobe Premiere での非互換性を防ぐため、MXF から 32 ビットオーディオオプションを削除
- ・ 全ての KONA および Io デバイスでデュアルリンク接続の VPID 問題を修正
- ・ Avid Media Composer でキーボードの JKL を素早くタイプすると、オーディオをループしてしまう問題を修正
- ・ AJA コントロールパネルのテストパターンドロップダウンの列をクリックすると AJA Control Panel がクラッシュする問題を修正
- ・ T-TAP で 2K 23.98 の再生問題を修正

v12.5

- ・ キャプチャー時の DNxHR パフォーマンスを改善
- ・ Thunderbolt を接続した際の一連の動作を改善
- ・ RP188 LTC のみがある場合に RP188 VITC が表示される問題を修正

- ・ SDI 2 のアンシラリー タイムコードが AJA Control Panel に表示されていなかった問題を修正
- ・ lo XT の AJA Control Panel プリセットで Genlock の状態が正しく保存できなかったり、呼び出されなかったりする問題を修正
- ・ lo XT の AJA Control Room で再生ペインを選択したときに、Ref/LTC が Ref に切り替わってしまう問題を修正
- ・ 9ピンをタイムコードソースに設定したタイムコードと、ビデオ間のキャプチャー固定オフセットの問題を修正
- ・ あるアプリケーションから別のアプリケーションへ切り替えたり、あるプラグインインスタンスから別のプラグインインスタンスに切り替えたりすると、オーディオシステムがクラッシュする問題を修正
- ・ lo 4K の電源を入れたまま取り外した時にアプリケーションがハングしてしまう問題を修正
- ・ 多くの不正なVPID (ビデオペイロード識別子) 問題を修正
- ・ 4K/UHD の 2SI 入力が KONA 4 と lo 4K で正常にキャプチャーされない問題を修正
- ・ Control Room のキャプチャークリップが常にノンドロップタイムコードになってしまう問題を修正
- ・ スリープ状態から復帰した後に出力が不良になる問題を修正
- ・ AJA Control Panel の全ての“425”文字列を 4K と UHD を伝送する方式 2サンプルインターリーブを示す“2-SI”に変更
- ・ Adobe 再生環境設定を変更した後、Premiere Pro で AJA 出力が行えなくなる問題を修正
- ・ Premiere Pro のキャプチャーでステレオオーディオを選択しても、ディスクリートモノラルトラックでファイルが作成される問題を修正
- ・ アプリケーションを終了すると HDMI オーディオ出力が常に8チャンネルにリセットされる問題を修正
- ・ Premiere Pro でタイムラインからタイムライン、またはタイムラインからソースモニタに切り替える際、AJA 出力で古いビデオフレームが点滅する問題を修正
- ・ Wirecast 出力のオーディオスタッターによる問題を修正
- ・ Wirecast で記録されたファイルとライブストリームで作成されたバックグラウンドノイズの問題を修正

v12.4.1

- ・ AJA ドライバーが原因で AJA ハードウェアのシリアルナンバーを正しく読み込めない問題を修正

v12.4.0

- ・ Premiere Pro で Mercury Playback Engine の設定が GPU 高速処理になっていない場合に 8-bit YUV 設定の再生が不正になる問題を修正
- ・ AJA デバイスが Mac OS でシステムオーディオデバイスとして選択されている場合に Premiere Pro の再生環境で AJA デバイスと Adobe デスクトップオーディオを切り替えると不安定な動作を引き起こす問題を修正
- ・ AJA ドライバーのインストーラーから AJAUncompressedCodec.component を消去
- ・ Premiere Pro でトリム機能を使用するとビデオ出力がフリーズする問題を修正
- ・ オーディオハードウェアを使用する方法を変更
- ・ Mac OS 10.11 で Premiere Pro でのキャプチャー中にフリーズやクラッシュ（または両方）を引き起こす問題を修正
- ・ AJA Control Panel が 1080p ハイフレームレート 3G Level B のユーザー設定を保持できない問題を修正。以前は再起動した後に常に Dual Link 1.5G にリセットされていました。
- ・ AJA Transmit プラグインで buffer mode を minimum に設定しオーディオのみのファイルを Premiere Pro のソースモニターで再生するとオーディオが吃る問題を修正
- ・ After Effects から他のアプリケーションに切り替えても AJA ハードウェアを離さないレガシーな AJA After Effects プレビュープラグイン (Blithook) の問題を修正
- ・ Adobe After Effects のサポート方法を変更。以前は 2 つの異なるプラグインをインストールしていました。“Blithook”プラグインは古いレガシーなプラグインのためデフォルトではインストールされなくなりました。必要な場合はインストーラーのオプションから選択してください。Transmit プラグインはデフォルトのインストールオプションとしてインストールされます。詳しくは Adobe のプラグインマニュアルをご確認ください。
- ・ AJA Control Room で QuickTime ファイル生成時に NCLC カラープロファイルを追加
- ・ AJA Control Room と Adobe キャプチャープラグインの DNxHR コーデックをアップデート。DNxHR のキャプチャーパフォーマンスを改善
- ・ AJA System Test が T-Tap の DMA スピードのテストに失敗する問題を修正
- ・ AJA ハードウェアが 25fps または 50 fps モードの際に AJA Control Room と Premiere Pro のキャプチャープラグインに DV と DVCProHD コーデックが表示されなくなる問題を修正
- ・ Media Composer が 1080p 50/59.94/60 のプロジェクトを常に 3G SDI Level A モードとして AJA ハードウェアを切り替えてしまう問題を修正。以前はデュアルリンクと 3G SDI Level B は設定するこ

とが不可能でした。ユーザーは AJAコントロールパネルでこの設定を選択することができるようになり、Media Composer を起動する前に設定することで適用されます。

- ・ AJA Control Room で バッチキャプチャーが失敗する問題を修正
- ・ AJA Control Room で DNxHR の規則に合わせるために DNxHD の命名規則を変更
- ・ AJA Control Room で常に バッチキャプチャーで作成したファイルの オーディオが 16トラックになってしまう問題を修正
- ・ lo 4K が 10bit HDMI 入力を 8bit として扱ってしまう問題を修正
- ・ Premiere Pro で DV 圧縮を使用したキャプチャーの問題を修正
- ・ ホストコンピューターのスリープ後に lo 4K から不正なテストパターンが出力される問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ AJA Control Room で複数の DNxHD クリップをキャプチャーすると AJA Control Room がクラッシュする問題を修正
- ・ Mac と Windows のインストーラーはデフォルトでレガシーな AJA After Effects プレビュープラグインをインストールしないように変更。プラグインはインストーラーの中にはまだ含まれており、インストールするにはカスタムインストールでユーザーが選択する必要があります。この古いプラグインは高速な伝送速度が不要な場合のみ使用してください。
- ・ KONA 3G が SDI 入力 2 からの RP-188 タイムコードを正確に読み込めない問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ AJA Control Room の バッチキャプチャーでキャプチャーを開始した後にアウトポイントの値が変更されて表示される問題を修正。以前は設定したアウトポイントは正確に実行されていましたが、アウトポイントの値が見た目上だけ不正確でした。
- ・ Avid Media Composer の タイムラインの再生で開始のフレームがまれにスキップされる問題を修正
- ・ Avid Media Composer の スクラブ後の再生で最初のフレームがまれに不正確なフレームになる問題を修正
- ・ Avid Media Composer の ループ再生が原因で exception error を引き起こす問題を修正
- ・ Premiere Pro のビデオとオーディオのミリ秒のオフセットによりタイムラインの再生の開始時にまれにビデオを数フレームスキップする問題を修正
- ・ AJA Control Room の VTR アウトポイントの表示が バッチキャプチャーの開始後に変更される見た目の問題を修正（キャプチャーされたファイルのアウトポイントは正常）

- ・ KONA LHe+ の AJA Control Panel で AES XLR がオーディオ入力ソースとして選択できない問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ lo 4K にて AJA Control Panel でのアナログオーディオの設定が正確に反映されない問題を修正
- ・ Adobe Premiere Pro で 720p フォーマットを元ファイルに正確なフレームでキャプチャーできるように修正
- ・ Adobe Premiere Pro のデバイスコントロールプラグインを端数（0.5 単位）のフレームオフセットが行えるように改善。端数のフレームオフセットは断続的な編集やキャプチャー時にフレーム未満でキャプチャーやテープ出力のオフセットを微調整するために使用することができます。
- ・ Adobe Premiere Pro で RP-188 タイムコードを正しくキャプチャーできるように修正
- ・ T-Tap と lo Express で Premiere Pro の 正しいビデオフォーマット設定が保持できない問題を修正
- ・ lo 4K で RGB の HDMI 入力が正しく動作しない問題を修正
- ・ AJA Control Room の インサート編集でオーディオの最初のフレームが挿入されない問題を修正
- ・ Adobe Photoshop で AJA インポートプラグインを使用してキャプチャーをした際に、入力された画像のクロマレベルが低くなる問題を修正
- ・ 2 サンプルインターリーブ形式の VPIDデータが間違っている問題を修正
- ・ lo 4K と KONA 4 の 4K と UltraHD の HDMI 出力におけるバンディングを修正
- ・ lo 4K と KONA 4 で ダウンストリームキーヤーを使用した際に画像が歪む問題を修正
- ・ ビデオフォーマットを切り替えることで画像が誤って垂直方向にロックしてしまう問題を修正
- ・ Premiere Pro の再生設定におけるオーディオとビデオのオフセット設定を修正

このリリースでサポートされる製品

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・ KONA IP | ・ lo 4K Plus |
| ・ KONA 4 | ・ lo 4K |
| ・ KONA 3G | ・ lo XT |
| ・ KONA LHi | ・ lo Express |
| ・ KONA LHe Plus | ・ T-TAP |

既知の問題

全般

- ・ KONA や lo のデバイスを使用時、システムをスリープにしないでください。オペレーティングシステム設定で、スリープおよび省電力モードを無効にする必要があります。
- ・ KONA LHi はオーディオシステムを 1 つしか持っていないため、キャプチャーや出力で同時に使用できるオーディオは 1 系統のみに制限されます。同時に複数チャンネルの入力と出力に対応したアプリケーションでは、SDI 入力にエンベデッドされたオーディオが使用されますが、HDMI ではオーディオを入力できません。入力と出力それぞれが一度に独立した状態で使用される場合（入力からのパススルー出力ではなく）のみ 1 系統のオーディオチャンネルを使用することができます。
- ・ AJA Control Room と Adobe Premiere CC の MXF OP-1A キャプチャーでは、720p60 , 1080i30 , 1080p30 , 1080p60 のフォーマットはサポートされていません。

Wirecast

- ・ lo 4K や KONA 4 のようなマルチチャンネルのデバイスで構成され、ライブのプログラム出力機能を使用する場合には始めに入力の設定を構成する必要があります。この場合、マスタークロック（NTSC もしくは PAL）をデバイスに設定することになります。そうでない場合、デバイスはデフォルトの 1080i 29.97 に設定され、PAL と NTSC のクロックの混合を引き起こす可能性があります。必ず Wirecast を起動する前に AJA Multi Channel Config で入力と出力の全てを設定してください。

Adobe Plug-Ins

- ・ シーケンスとハードウェアのフレームレート設定が異なると、適切なオーディオ出力が得られない場合があります。
 - 720p50/59.94/60 以外の 720p フォーマットで発生する可能性があります。
 - この制限を回避するには、Premiere Pro の再生設定で、AJA ビデオデバイスを「Match Control Panel」に設定します。その後、AJA コントロールパネルを使い、出力に対して 1080 フォーマットへのクロスコンバージョンを設定します。例えば、720p23.98 プロジェクトを使用する場合は、SDI 出力を選択して 1080PsF23.98 フォーマットを選択し設定します。
- ・ クラッシュキャプチャーにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャーすることはできません。RS-422 タイムコードに変えてエンベデッドタイムコードを使用することを推奨します。
- ・ VFR にプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI 経由のクラッシュキャプチャーおよびプリントにおいて、Varicam フレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン点・アウト点を指定してのキャプチャーやバッチキャプチャーは行えません。

- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を行う際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目 202 “ID SEL” が “OTHER” に設定されていることを確認してください。
- ・ デッキ制御において 4 秒以下のプリロールは推奨しません。
- ・ Premiere Pro のモニタ設定のデフォルトは”最初のフィールド”となっています。インターレースを正しく表示するには”両方のフィールド”を選択してください。
- ・ Premiere Pro のキャプチャーウィンドウを開いた状態で、デッキのテープが DF から NDF に変更された場合、DF/NDF ステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Pro のキャプチャーウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
 - 同じキャプチャーセッション中に DF と NDF のテープ混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
 - ▶ 対処方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を付与し、OK をクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
 - ▶ 回避方法：キャプチャーウィンドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・ Panasonic D5 デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソース設定を LTC+VITC にしなければなりません。

Avid Open I/O Plug-ins

- ・ AJA デバイスをオーディオのみキャプチャーするために“キャプチャーツール”で使用するためには、“キャプチャーツール”で AJA デバイスを選択している必要があります。
 1. キャプチャーツールを開く
 2. AJA KONA あるいは AJA Io などのビデオ入力およびオーディオ入力を選択
 3. オーディオのみのキャプチャーを開始
- ・ AJA デバイスを”オーディオパンチインツール”で使用するためには、“キャプチャーツール”で AJA デバイスを選択している必要があります。
 1. キャプチャーツールを開く
 2. AJA KONA あるいは AJA Io などのビデオ入力を選択
 3. キャプチャーツールを閉じる
 4. オーディオパンチインツールを開く
 5. AJA KONA あるいは AJA Io などの入力デバイスを選択
- ・ Open I/O Plug-ins がインストールされている場合、タイムラインの不特定なループは、Avid アプリケーションの再生停止や、エラーメッセージの原因となる可能性があります。
- ・ KONA 3, KONA 3G, Io XT でデュアルリンク RGB ソースをキャプチャーする場合、E/E されるデュアル SDI 出力は正しくない可能性があります。

- ・ AJA ハードウェアはコントロールパネルを使用してゲンロックを 'Input' と 'Reference' で切り換えることができますが、Media Composer でキャプチャーを行う場合、この選択によってバッチキャプチャーが正しく行えない場合があります。この問題を回避するにはゲンロックを "Input" に設定します。
- ・ アナログビデオ入力 は Media Composer のキャプチャーツールに正しく検出されない場合があります。この問題は Media Composer の起動時にソースビデオを再生しておくことで回避できます。